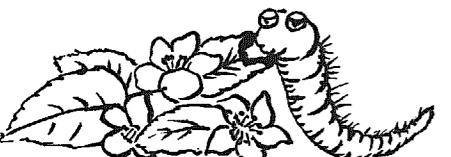


緑を食い荒す アメシロ
を防除しましよう



高令者人口が年々増え続け
る今日、その生きがい対策が
色々と問題になっていますが、この
生きがいを自分達の知恵と力で見い
出し、老後を楽しむ暮らして行こう
と、老人クラブ連合会（会長藤田昌英、
会員一、一五名）総会が、五月六日、名地区の
代議員五十六名が渋谷村長、長瀬保健
課長を招いて

六月に入りますと樹木の葉
を食い荒すアメリカシロヒト
リが発生します。アメリカシロヒトリは、
七月と八月に年二回発生しま
す。アメリカシロヒトリの蛾
は二二二・五cm位の白い色を
みつけ、化した幼虫（ケムシ）が樹木の葉を食い荒しま
す。このケムシは、身を守るために一定の期間は、くもの糸
のようなもので巣を作り成長し
て体長二二二cm位になると、

この時は、薬剤を使って防
除を進め、防除効果を高め
ます。薬剤はディーラーテ
レックを使いますが、村では
区長さんにお願いし、一齊防
除します。薬剤はディーラーテ
レックを使いますが、村では
皆様のご協力をお願いしま
す。

農業機械利用料

機械施設名	単位	利用料
トラクターラバー	1アワメーター	800円
ヘーメー	10アール	1,000円
塔載型防除機	10アール	500円
自走型防除機	10アール	50円
背負型動力散粉機	10アール	80円
	10アール	50円

六月期児童手当を六月十日
に該当者口座に振込み致しま
す。当期から各個通知をやめ
本紙でお知らせします。

児童手当振込み
のおしらせ



横越村公民館で開かれました。
総会の議事は、前年度の事業

生きがいを求め……老人クラブ連合会
魅力ある事業を決定

会長に 藤田昌英氏 を 再選

及び決算報告のあと、ゲートボール大会、講演会及び映写会、交通安全教室等、盛り沢山の工夫された五十六年度事業計画や予算（四五万円余）を満場一致で決定しました。また、役員の任期（二年）が切れるため、その改選を行なった。現会長の藤田昌英さんは再選されました。

総会の議事終了後、役場辺保健婦から「健康管理について」の講話がありました。

○村税条例の一部改正

県消費生活改善
推進委員に
小舟戸タカさん

大字小杉上
電話 二一六〇番
五三四二番

連絡先

いります。

いずれにしても、一人一人

がアメリカシロヒトリの巣を

見つけけて処分するのが一番効

果があります。

アメリカシロヒトリは、さ

わっても、カブレや、痛みな

どはありませんので、早期発

見による防除が大切です。

六月一日から九月三十日ま

でアメリカシロヒトリ一齊駆

除運動期間です。

皆様のご協力をお願いしま

す。

木津中地区にある横越農協倉庫を貯収しこれに充てます。

○○○錠を目標にしています。

ニサ米は、多収性もさることながら、サイレージ試験で

本村で試作された品種は、

イタリア産アルボリオJ1。

J10の二品種。昨年全国で試

作されたニサ米は、異常冷夏

ということもあって、平均收

量十倍当り七四〇錠でしたが

茨城県の例では、十倍当たり

一、三三七錠という驚異的な

収量をあげています。

一方、新聞紙によれば農

林水産省は、このニサ米につ

いて、五月六日衆院農林水産

委員会で「国・県が行う研究

の参考になることを前提とし

て、五十六年度からニサ米試

験田を転作対象とする。ただし

し、転作奨励金は支給しない

件は、①多収穫品種であるこ

と。

転作面積前年対比五〇%増
というきびしい第二期水田利
用再編対策事業について、村
は最近農家の間で急速に関心
が高っているエサ米を今年度
から、県、農協、横越村エサ
米推進協議会（代表佐藤勝栄）
の協力を得て、試験展示圃を
横越下地区に設置することに
なりました。

五月十日、渋谷村長ら農家
が試験田二〇haに手植えと機
械植えを行いました。

エサ米の試作は、昨年全国
二十九ヵ所に行なわれました

が田畠輪換の不可能な土地条
件今まで蓄積されてきた稻
作技術や、農業機械をそのま

ま活用できるものとして注目
されています。

このエサ米作付けについて
米作農家や酪農家では、本村
が酪農地帯でありながら自給
飼料が不足していることや、
利用度が低い青刈り稲の実態
から昨年十二月横越村エサ米
推進協議会が発足。村に対し
エサ米生産の推進と技術援
助、転作奨励金対象の要請が
なされています。

一方、新聞紙によれば農
林水産省は、このエサ米につ
いて、五月六日衆院農林水産
委員会で「国・県が行う研究
の参考になることを前提とし
て、五十六年度からエサ米試
験田を転作対象とする。ただし

し、転作奨励金は支給しない

件は、①多収穫品種であるこ
と。

（エサ米試験田の田植）

あいさつを述べる 藤田会長

（農業用機械利用条例（略称）
等を審議する、本年第一回臨
時議会が五月八日開催されま
した。

提出された議案は、村長の
職権によって専決した村税條
例一部改正、55年度一般会計
及び特別会計補正予算のほか
農業機械利用条例、特別積立
金取崩し、56年度農業共済会
計補正予算等で、何れも原案
どおり承認可決されました。

また議会では、常任委員の任
期が満了するため、新たな選
任と正副委員長の互選が行な
われました。

承認及び可決された議案の
うち主な内容は次のとおりで
す。

（◎村税条例の一部改正）

横越下地区に

エサ米20アールを試作

—農水省今年度から転作対象—

ま活用できるものとして注目
されています。

このエサ米作付けについて
米作農家や酪農家では、本村
が酪農地帯でありながら自給
飼料が不足していることや、
利用度が低い青刈り稲の実態
から昨年十二月横越村エサ米
推進協議会が発足。村に対し
エサ米生産の推進と技術援
助、転作奨励金対象の要請が
なされています。

一方、新聞紙によれば農
林水産省は、このエサ米につ
いて、五月六日衆院農林水産
委員会で「国・県が行う研究
の参考になることを前提とし
て、五十六年度からエサ米試
験田を転作対象とする。ただし

し、転作奨励金は支給しない

件は、①多収穫品種であるこ
と。

（農業用機械利用条例（略称）
等を審議する、本年第一回臨
時議会が五月八日開催されま
した。

提出された議案は、村長の
職権によって専決した村税條
例一部改正、55年度一般会計
及び特別会計補正予算のほか
農業機械利用条例、特別積立
金取崩し、56年度農業共済会
計補正予算等で、何れも原案
どおり承認可決されました。

また議会では、常任委員の任
期が満了するため、新たな選
任と正副委員長の互選が行な
われました。

承認及び可決された議案の
うち主な内容は次のとおりで
す。

（◎村税条例の一部改正）

5月臨時議会

農業機械利用条例を可決

新常任委員等決る

作業停電のお知らせ

◎建設常任委員会

◎厚生経済常任委員会

さる五月八日開催された臨
時議会において、議会常任委
員の任期（二年）が五月八日
に満了するため新たなる常任
委員が左記のとおり選任され
るとともに、正副常任委員長
が互選されました。

これによると、議会運営委
員に一部交代があつたものの
殆んど変りがなく、建設委員
長金川、同副委員長今井、議
運副委員長坂井の各議員が新
たに選出された以外、従前ど
おりとなりました。

これらによると、議会運営委
員が左記のとおり選任されると
ともに、正副常任委員長が互選
されました。

これによると、議会運営委
員に一部交代があつたものの
殆んど変りがなく、建設委員
長金川、同副委員長今井、議
運副委員長坂井の各議員が新
たに選出された以外、従前ど
おりとなりました。

（◎建設常任委員会）

（◎厚生経済常任委員会）

（◎総務文教常任委員会）

（◎議会運営委員会）

（◎議会運営委員会）